

レインボーフェスタ！2018 企画書



■事業名称 レインボーフェスタ！2018

■主催 レインボーフェスタ！実行委員会

(性的マイノリティ当事者・支援者等の個人により組織)

■後援(2017年度実績)

大阪府、大阪市、堺市、能勢町、豊能町、池田市、箕面市、豊中市、茨木市、高槻市、島本町、吹田市、摂津市、枚方市、交野市、寝屋川市、守口市、門真市、四條畷市、大東市、東大阪市、八尾市、柏原市、和泉市、高石市、泉大津市、忠岡町、岸和田市、貝塚市、熊取町、田尻町、泉南市、阪南市、岬町、松原市、羽曳野市、藤井寺市、太子町、河南町、千早赤阪村、富田林市、大阪狭山市、河内長野市

■開催日時 平成30年10月6日(土曜日)・7日(日曜日) 開場10:00～閉場16:00予定

■開催場所 扇町公園(大阪市北区)

■本年度のテーマ 一期一会～今に生きる、今を生きる。～

今、ここにある瞬間を、もう二度とこないこの瞬間を生きていく。

レインボーフェスタ！が始まってからのこの5年は、例えば性の多様性ととも生きてゆく人にとっては、とても多くの変化に恵まれたときであったと思います。社会という大きなものが変わりゆくさまを、ありありと感じたときであったと思います。そんな時代をこれからも生きてゆくこと、そんな時代に今生きていること。一期一会のこの瞬間を踏みしめて、前へ進んでいきたい、そんな思いをこの言葉にしました。

■参加者 性的マイノリティ当事者、家族、支援者、地域住民、学生など

■参加人数 約4,500人(2017年度・雨天のため)

約5,000人(2016年度)・約7,000人(2015年度)

本年度は2日開催、ステージ出演者充実のため、来場10,000人以上を見越しています。

■参加費 無料

■広告媒体 ウェブサイト、Twitter、Facebook、ガイドブック

頂戴した応援メッセージについては、当日会場にて閲覧に供する

■ホームページ(2017年度版) <http://rainbowfesta.org/2017/index.html>

(2018年度版) <http://www.rainbowfesta.org/>



■事業内容

1. パレード

扇町公園周辺を街頭パレードし、地域・社会へ性的マイノリティの存在をアピールするとともに、理解・共生の呼びかけを行った。性的マイノリティ当事者や支援者などを中心に、約760人が参加。



2. ステージ

性的マイノリティ・地域市民などによるトーク・音楽・ダンス等のステージイベントを行う。

出演者(2017年度実績)：

TEN6 (開催地地元、天神橋筋商店街のアイドルグループ)

虹組ファイブ、carat、H-Pag! (ゲイ男性らによるアイドルグループ)

ささのみちる (シンガーソングライター)

NSM= (性的マイノリティ女性らによるアイドルグループ)、大阪府立松原高校吹奏楽部 ほか3件

平等結婚式 (トランスジェンダーカップルによる神前結婚式)、ファッションショー

祝辞(2017年度実績)：

(応援メッセージ紹介) 大阪府知事様、大阪市長 吉村 洋文様、堺市長 竹山 修身様、
能勢町長 山口 禎様、箕面市長 倉田 哲郎様、豊中市長 浅利 敬一郎様、茨木市長 福岡 洋一様、
高槻市長 濱田 剛史様、島本町長 川口 裕様、吹田市長 後藤 圭二様、枚方市長 伏見 隆様、
交野市長 黒田 実様、寝屋川市長 北川 法夫様、門真市長 宮本 一孝様、四條畷市長 土井 一憲様、
大東市長 東坂 浩一様、東大阪市長 野田 義和様、八尾市長 田中 誠太様、泉大津市長 伊藤 晴彦様、
岸和田市長 信貴 芳則様、熊取町長 藤原 敏司様、松原市長 澤井 宏文様、
千早赤阪村長 松本 昌親様、富田林市長 多田 利喜様、大阪狭山市長 古川 照人様



3. ブース

性的マイノリティ当事者団体による活動報告やアート等の出展、性的マイノリティへの支援を目指す企業のブース出展、地元商店街有志による飲食ブースの出展があった。

出展者(2017年度実績)：

淀川区役所・都島区役所職員有志、IGLTA(国際ゲイ&レズビアン旅行協会)、
G-FRONT 関西、特定非営利活動法人虹色ダイバーシティ、chotCAST なんば、dista、信長書店、
日本司法書士連合会、ホテルグランヴィア京都、ジェクス株式会社、ライフネット生命保険、
LGBT 法連合会&SOGI と公的調査研究会、虹働 LIKE、ミリオンベル@たからづか、
LGBT 保険・年金・相続相談所、LGBT 専門家の行政書士による無料相談、一般社団法人 glitter、
FM OH!(FMOSAKA)、CASSAROS など約40ブース

昨今、性的マイノリティであるLGBT(※)に対する社会的な課題認識は日々拡大しております。

2015年の「電通ダイバーシティ・ラボ」による調査では、LGBT層に該当する人は7.6%(13人に1人の割合)、LGBT層の商品・サービス市場規模は5.94兆円という結果が出ております。

このような状況から、社内の福利厚生などに関する対応を加速させ、多様な価値観を尊重する環境づくりが今求められております。ダイバーシティ&インクルージョンを積極的に推進し、社会全体が多様性を認め合いながら、より良い社会の実現に向けて実践されている企業様も増えております。

弊イベントへご協賛いただくことにより、各企業様のCSR活動への取り組み強化の一助となりますので、ご賛同・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

(※) LGBT、レズビアン(L=女性同性愛者)、ゲイ(G=男性同性愛者)、バイセクシュアル(B=両性愛者)、トランスジェンダー(T=性同一性障害を含む生まれた時の体の性と心の性が一致しない人)の頭文字です。